

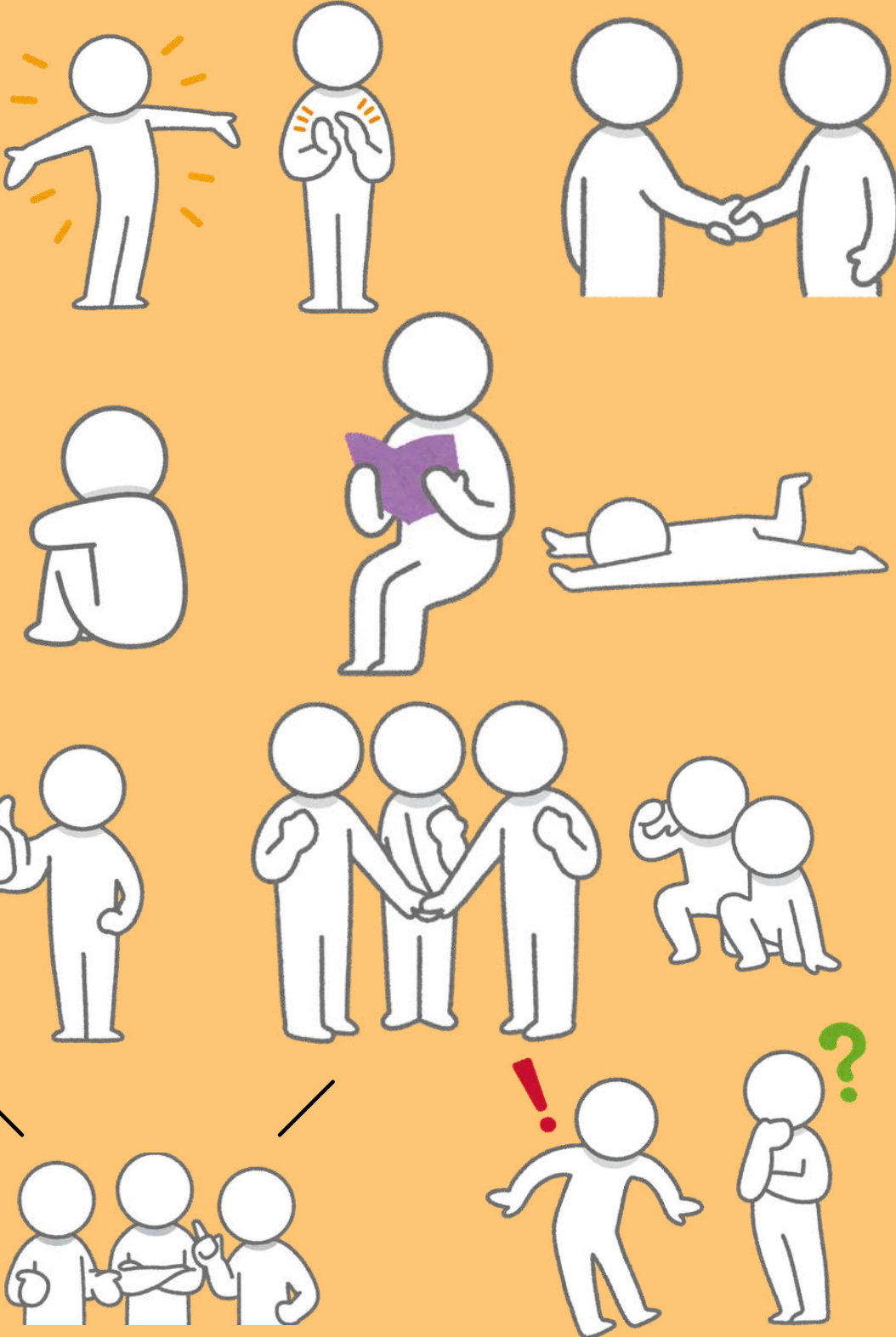
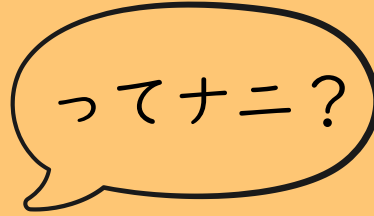
学習者 がくしゅうしゃ

一人ひとりが主役！ ひとり しゅやく

自由進度学習を始めよう

ver.2

こ べつ さい てき まな
個別最適な学びと
きょうどう てき まな
協働的な学び



しあわ こ じ だい
幸せな子ども時代のために

も く じ

第1章 自由進度学習とは

- ① 私たちには力がある。そして、一人ひとりちがう
- ② 今、学校の学び方が変わってきている
- ③ 自由進度学習の授業って、どんな感じ？
- ④ 3つのチャレンジをしよう！
- ⑤ うまくいくポイントは「振り返り」です
- ⑥ 子どもたちの裁量がなだらかに増えていく



第2章 自由進度学習の準備

- ① 「自分から学ぶ」心をもつ
- ② 学びの地図「単元進度表」の例1 算数
- ③ 学びの地図「単元進度表」の例2 算数
- ④ 学びの地図「単元進度表」の例3 家庭科
- ⑤ 温かい関係をつくろう
- ⑥ 先生の役割（ファシリテーター）
- ⑦ 学び方をシェア。生活科から全教科へ

メッセージ

第3章 自由進度学習の実践

- ① フリーペーパーを読んで意見を出し合おう
- ② 先生の学びの場（校内研修）での活用
- ③ 国語「やまなし」私たちの幻灯づくり
- ④ 二刀流（二教科同時進行）にチャレンジ

この冊子は、「自由進度学習」という授業の考え方や取り組み方について伝えたい内容をまとめています。学校の先生や児童・生徒のみなさんに読んでいただけたら嬉しいです。わからない言葉は調べてみてください。

こ え だ よ
みんなで声に出して読んでみてね♡

- ⑤テストを「やらされる」から「選ぶ」へ
- ⑥自由進度学習×カードで学びを深める
- ⑦図エ「ドリームカンパニー」自由進度学習で夢の会社の製品づくり

第4章 自由進度学習のおすすめ・自由進度学習におすすめ

- ①自由進度学習で学んだ先輩の声に学ぼう
- ②はじめの一步は算数がおすすめてです
- ③毎日読書を楽しもう
- ④自由進度学習×ICTは相性がいい
- ⑤ホワイトボード・ミーティング®でファシリテーターになろう
- ⑥やってみよう！サークル対話（イエナプラン教育）
- ⑦クラスBOXサークルを始めよう

参考文献など



そして、ひとりでじっくり読^よんでみてね♡

そして

1 私たちには力がある。一人ひとりちがう

私たちは一人ひとりが力をもつ存在です。そして、たくさんの可能性にあふれています。あなたにも、私にも力や可能性があります。

例えば、友だちにステキな言葉を送ると、友だちは幸せな気持ちになります。私たちには言葉を通して人を幸せにする力があるのです。

自分が好きなことを続ける力
勉強やスポーツに取りくむ力
ひとりで、がんばる力
友だちと、協力する力
楽しく遊ぶ力 などなど

ほかにも、いろんな力がありそうですね。

そして、私たちは一人ひとりが大切な存在です。そして、一人ひとりが、全くちがう人です。好きな食べ物やスポーツ、強みや性格、考え方、ものごとのとらえ方が一人ひとりちがうように、「自分に合った学び方」も、きっと一人ひとりちがいます。このちがいが尊重されるといい。このちがいを楽しめるといい。

そんなふうに思いませんか。



2 今、学校の学び方が変わってきている



これまで長い間、学校の多くの授業は、こんな学び方で進められてきました。

- ☐ 1 先生の説明を、みんなで聞く
- ☐ 2 意見のある人が手をあげて発表する
- ☐ 3 自分でノートやプリントにまとめる

授業で一番、長く話すのは先生で、私たちは、その話を静かに聞くことが大事とされてきました。もちろんそれも大事です。

でも今、時代の変化に合わせて、学び方のシフトチェンジ（変化）が始まっています。これからは、一人ひとりが学びの主人公として主体的に学びに取り組み、対話をしながら学びを深めていきます。

そのひとつが自由進度学習です。

自由進度学習は学習をする**子どもが中心**の授業の進め方です。一人ひとりが「学びのコントローラー」をもって、自分の学習を計画しながら進めます。うまくいったら先に進んでもいいし、わからなければ後ろにもどってもいい。自分に合った進度で学習がわかること、楽しいことを大切する学び方です。

3 自由進度学習の授業って、どんな感じ？

自由進度学習の授業では、みんなが自分のペースで学べます。わからないところはゆっくり時間をかけて進み、得意なところはどんどん進めます。

教室には、勉強に役立つ資料や教材があって、先生も必要なアドバイスをしてくれます。わからないところがあればすぐに先生に聞いて、友達と協力することもできます。みんながそれぞれの目標に向かって、自分に合ったやり方で学んでいく授業です。

自由進度学習では、先生の役割が変わります。先生は一人ひとりの進み方に合わせてアドバイスをくれる「学びのナビゲーター」となります。また、みんなが安心して学べる教室を作り、好きなペースで学べる環境を整えます。

例えば、子どもたちが必要なことは声をあげます。「数え棒がほしい」「ホワイトボードがほしい」など。そして学習環境を一緒につくっていきます。先生は、必要な本やオンラインの教材を準備してくれたり、勉強のやり方についてアドバイスをしてくれます。そして、がんばったことや、次に工夫できることを「フィードバック」で教えてくれます。

先生は「教える人」ではなく、みんなの学びをサポートする「伴走者」として寄り添ってくれるのです。

＼いいね！／



4 3つのチャレンジをしよう！

自由進度学習で大切にしている考え方は、次の2つです。個別最適な学びと協働的な学びはグルグルとまわりながら進みます。



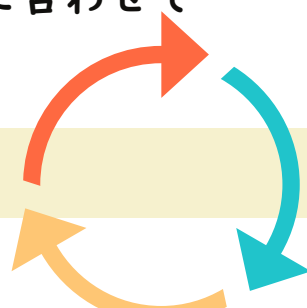
個別最適な学び

自分のペースやスタイルに合わせて学ぶ。学び方を探究する



協働的な学び

友だちと意見やアイデアを出し合って、協力して学びを広げたり深めて問題を解決する



＼ドキドキワクワクの／ 3つのチャレンジ！を大切にします

- 1 自分の学びを広げ、深めるチャレンジ
- 2 友達関係を広げ、深めるチャレンジ
- 3 クラスの関係を広げ、学びを深めるチャレンジ

現在の日本の学校では「予測困難な時代」「正解のない時代」を生きていく力を養う上で、「個別最適な学び」や「協働的な学び」は、不可欠な学びだとされています。自由進度学習は、それらを実現する授業の進め方のひとつです。クラスみんなで「3つのチャレンジ」に取り組もう！

5 うまくいくポイントは「振り返り」です

自由進度学習がうまくいくポイントはズバリ「振り返り」です。

「なん問できた？」

「なん点だった？」 だけではなく

「なぜ、できたのだろうか」

「なぜ、できなかったのだろうか」



と、自分で振り返りながら学習を進めます。つまり、自分で自分の学びを分析するので、友達と一緒に学び合えば、お互いに分析し合ったりもできます。

もちろん、振り返りがうまくいかないこともあります。そういう時は様々に工夫をします。目標や計画がうまく立てれないこともあります。でも、慣れてくると振り返りのサイクルがまわり始めて、だんだんと学び方の工夫がわかるようになります。そうなってくると学びが「ビュン！」と加速します。

こんなふうに自分で決めて、自分で学びを進めていくのが自由進度学習です。先生は黒板の前にいません。司会もしません。何をするのか細かく指示もしません。でも、いつでも相談できます。

自分で学習計画を立て、精一杯学んで、振り返り、1歩ずつレベルアップしましょう。

振り返りがうまくなるためのおすすめは「振り返りジャーナル」です。うまくいった時もそうでない時も、やりっぱなしにせず振り返ることで、明日につながる大切な学びを得ることができます。3つのチャレンジを振り返るのもおすすめです。

6 子どもの裁量がなだらかに増えていく



自由進度学習をはじめとする「子どもたちの裁量が多い学び」は、「先生が説明・指示する授業」と、対立するものではありません。毎日の授業や、学級での色々な活動を通して、少しずつ先生からの説明・指示が減り、その分、みんなが自分で計画し、自ら学ぶ時間が増えていく「なだらかな変化」のイメージです。

大切なポイントは「いきなり全てを子どもに任せることが目的ではない」ということ。「一人ひとりの好き・得意・困難さを大切にした授業」や「自分ごととして他者・社会と関わる学級活動」を積み重ねた結果として、自然とみんなに任せられる部分が授業の中に増えていくのです。

そして、先生が説明や指示をする時間が減った分、先生はみんなの相談に乗ったり、困っているところを支えたりする「伴走者（サポーター）」のような役割へと変わっていきます。

もちろん、クラスには「自分のペースでどんどん進みたい人」もいれば、「みんなと一緒に安心して進みたい人」もいます。焦らずバランスよく、自分で学習をコントロールできる範囲を少しずつ広げていきましょう。

参考文献

「学びのコントローラー」（難波駿・東洋館出版社）

「よくわかる学級ファシリテーション 授業編」（岩瀬直樹・ちょんせいこ・解放出版社）

1 「自分から学ぶ心」をもつ

何よりも必要な準備は「心がまえです」。これまでとは学び方が変わります。先生が全てを準備したり、授業の進度を決めたりはしません。だから、自分の心がまえ（マインドセット）が大切になります。



学び方

- ☐ 1 自分でゴールと学習計画を立てます
- ☐ 2 自分のペースで学びを進めます
- ☐ 3 友達と一緒に協力して取り組みます
- ☐ 4 学習を振り返ります
- ☐ 5 振り返りを次に活かしてアップデート

心構え



- ☐ 1 授業を「自ら学び、成長していく場」にしよう
- ☐ 2 「なぜ？」「どうして？」の、好奇心の種をたくさん見つけよう
- ☐ 3 好奇心の種を大切に育て続けよう
- ☐ 4 「まあこれくらいでいっか」で終わらない。粘り強く学び続けるのだ
- ☐ 5 先生を待っていてはいけない。自分で学習環境を整えよう
- ☐ 6 誰かに合わせるのではなく、自分の進めたい進度で進めるぞー！
- ☐ 7 一緒に学びたい時や、困った時は友達と声をかけあうのだ
- ☐ 8 「ごめんね。ひとりでやりたいの」と言われたら「了解！」です
- ☐ 9 失敗・間違いOKOK。成功からも失敗からも学ぶのだ
- ☐ 10 振り返りながらアップデートしよう



そんな気持ちになれない時もあるある。OK！OK！
だいじょうぶ。だいじょうぶ。



自由進度学習には、様々なスタイルがあります。例えば、授業の最初10分や途中20分を自由進度学習にするスタイルや、単元10時間のうちの数時間や単元全部の時間を自由進度学習にするスタイルもあります。国語と社会の授業を組み合わせるなどの教科融合で進めるスタイルもあります。

2 学びの地図「単元進度表」の例1 算数

<はじまりのインストラクション>

全11時間のうち、4時間まで「みんなで一緒に」学んできました。「算数の武器の使い方」は身につけたかな？ 忘れた人は、何度でも学び直していいですからね。忘れたことを覚え直すことは大切な勉強のプロセスです。

さて、今日から（5時間目）は、身に付けた武器を使って、それぞれが自分の学びを進めていきますよ。学習進行表をもとに、自らの学びを進めていきましょう。計画シートを出しましょう。さあ、学びを始めましょう。

	小見出し 理解したいキーワード	学習活動・教科書	☆評価 ※予習復習用コンテンツ
1	平均値	みんなと先生で p88,89,90の問題から学び、考える	イーボード →○○○（リンク）
2	ドットプロット 最ひん値・中央値 代表値	みんなと先生で p91,92の問題から学び、考える	すきるまドリル →○○○（リンク）
3	度数分布表 階級 度数	みんなと先生で p93の問題から学び、考える	ドリルパーク →○○○（リンク）
4	柱状グラフ	みんなと先生で p94の問題から学び、考える	
5～11 活用 探求	学んだことをいかそう 学びをつなげよう やってみよう	☐ p95,96,97「つながるミカタ」に取り組む →先生へ ※まなびリンク「ドットツール（2）」「柱状グラフツール（2）」を活用 ☐ p98,99「いろいろなグラフ」に取り組む →▷3に取り組む時は先生を呼んでね ☐ p100,101,102,103を参考にして「身の回りのデータ」を活用して、結論をまとめよう。 →こちらのリンクを参考に、取り組んでみよう。	☆様々な観点からデータを分析し、その結果を根拠に結論をまとめることができる ☆柱状グラフが用いられる場面や見方について理解している ☆身の回りの事象について、目的に応じて、統計的な問題解決の方法で考察している。
5～11 理解 習熟	学んだ内容を理解しよう 確実に身に付けよう	☐ p104,105に取り組み、学習内容の理解を確認し、身に付けられるよう勉強しよう。 ☐ ステップアップ算数p253,254に取り組み、学習内容の理解を確認し、身に付けられるよう勉強しよう。	

<振り返りのインストラクション>

さて、今日の学びを振り返りましょう。今日の授業中、あなたに密着カメラが潜入して、あなたを撮影していたとイメージしてください。

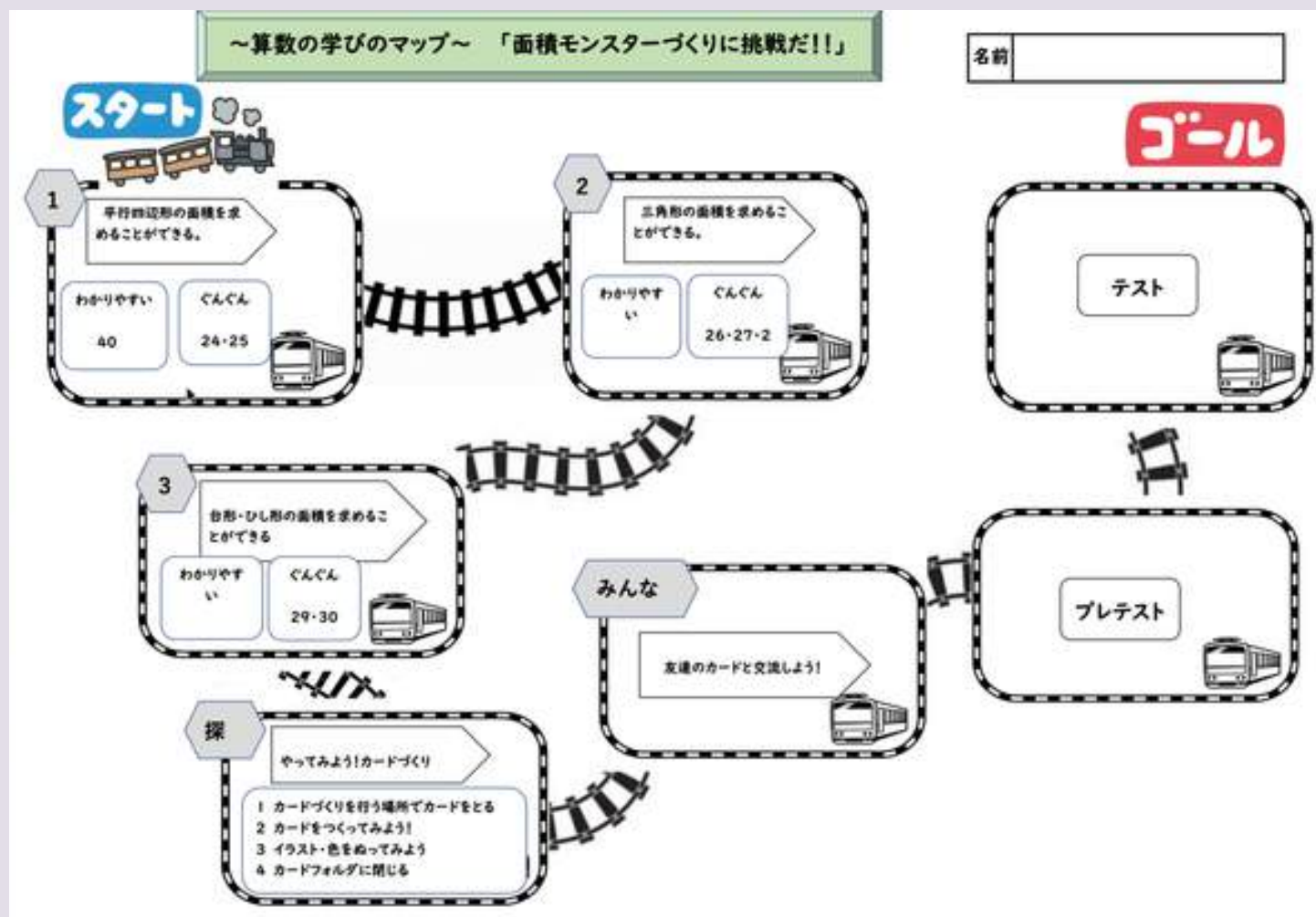
「今日の学びについて、自分自身でどう感じましたか？」とインタビューされました。あなたは密着取材の映像を見ながら、自分で今日の学びをどう評価するか、具体的に振り返ってみましょう。

自由進度学習では、単元進度表が共有されます。授業の進め方を先生だけでなく子どもたちも知っていることが大事。これが学びの地図になります。大きな模造紙に書いて貼り出したり、プリントを各自が保管したり、ICTで共有したりします。

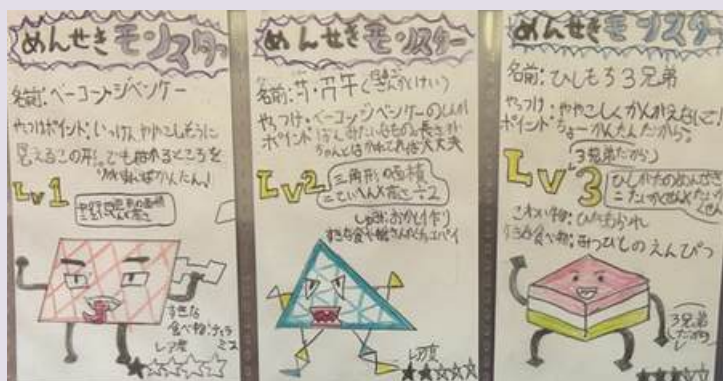
3 学びの地図「単元進度表」の例2 算数

くはじまりのインストラクション

私たちは、面積モンスターがたくさんいる島に迷い込みました。この島には平行四辺形、三角形、台形、ひし形の形をしたモンスターがいます。このモンスターは公式の意味を説明することができれば倒すことができます。問題を解きながら、面積を求める公式とその意味を説明するカードを作成していこう。



右の写真のように問題を解きながらカードに面積の公式の意味を説明します。カードにまとめることで、算数の見方・考え方についての学びが進みます。



4 学びの地図「単元進度表」の例3 家庭科

<はじまりのインストラクション>

今日からミシンでトートバックの制作をします。今までのミシンの使い方がここに書いてあるので、つくっていただけるといいですよ。右上に書いてあるURLをクリックすると、トートバックの作り方の動画があります。それを見ながらつくってみましょう！

5年生でならったミシンの使い方を思い出そう

<https://www.aob.>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
ミシンを安全に運ぶ	電源を入れる	ミシン針をセットする	ボビンをセットする	下糸をセットする	上糸をセットする	直線ぬいをする	返しぬいをする	ミシン針を外す	ミシンを安全にしまう

トートバッグ製作をしよう

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
しるしをつける	まち針でとめる	わきをぬう	出し入れ口をぬう	底にマチを作る	持ち手をまち針でとめる	持ち手をぬう	必要なマークやアップリケをつける	出来上がりを写真にとる

◎ 毎時間の振り返りを書こう

月 日 ()	今日のめあて	ふりかえり (できたこと・できなかったこと・次回やりたいこと)	めあてに対して どうだったか (◎・○・△)

以前、つくった人たちはトートバックが完成した時に、とても感動していました。「まさか、自分でつくれるなんて」と。できたトートバックを音楽バックにしたりして、とても喜んで使っていました。自分でつくったバックが手元にあるのは、本当に嬉しいものです。

注意するのは、縫う場所の布の長さです。

ぬいしろに気をつけて、縦と横の長さを間違わずにつくっていきましょう。

家庭科や図工などの実技の自由進度学習では、パソコンで視聴できる動画もあり、自分のペースで何度でも見返せます。単元進度表を見ながら、自分の進み具合をチェックできます。わからないところも、自分で考えながらじっくり学べます。

5 温かい関係をつくろう

みなさんのクラスは何人ですか。

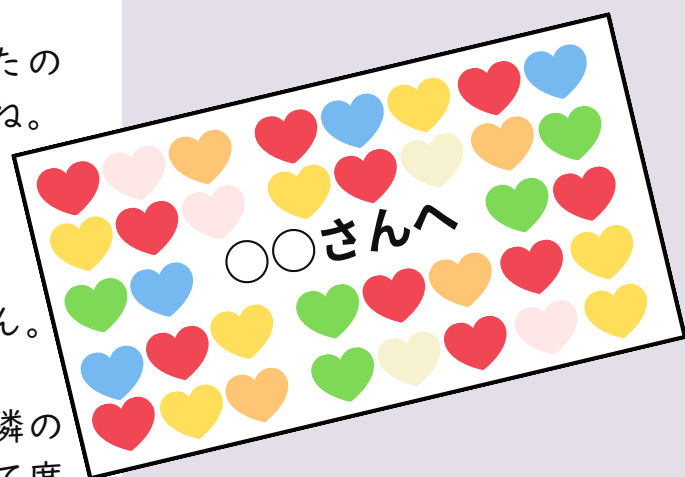
日本では、ほぼ同じ広さの教室に数人のクラスもあれば、40人くらいのクラスもあります。クラスと言っても様々です。

そして最初にも説明した通り、私たちは一人ひとりがちがう存在です。同じものを見ても感じ方も様々です。クラスには気が合う人もいれば、苦手な人もいるかもしれません。

でも、ご縁があって同じクラスになったのだから、いい友達になれるといいですよね。いいクラスになった方がいい。だとすると、そのための工夫が必要です。みなさんのクラスには、どんな工夫がありますか。何もしないと温かい関係にはなません。

例えば、週に1回席替えをして全員と隣の席になるように工夫したり、目的によって席を変えたり、総当たりでじゃんけん大会をしたり、全員でサークルになって対話をしたり、本をペアやグループで読んだり。いろんな工夫をして私たちはお互いを知り、友達になり、クラスとして成長します。

自由進度学習は、温かい関係があるとうまく進みやすくなります。そして、自由進度学習を通して、小さなクラスも大勢のクラスもさらに温かい関係をつくっていきます。



おすすめ！「ハートカードプロジェクト」。準備するのはクラス名簿と人数分のハートの紙。1週間、友達をじっくり観察して「○○さんへ 体育の時に大きな声で応援してくれてありがとう。△△より」などのメッセージを送り合います。もらったカードは大きな画用紙に全員分を貼り付けます。

6 先生の役割はファシリテーター

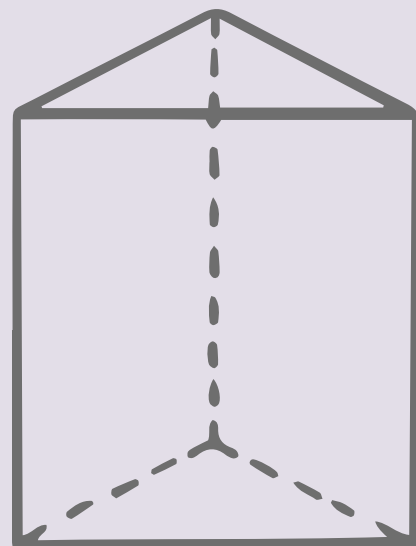
ファシリテーターという言葉聞いたことがありますか。ファシリテーターはみんなでゴールに向かえるように伴走する役割です。

目標や計画がうまく進めるように観察し、具体的な手立ての提案やアドバイスをして気づきを促します。例えば、こんな感じです。

三角柱の体積を求める計算にチャレンジする子がいました。でも、どうしても進め方がわかりません。困っているうちに、だんだんとやる気がなくなってきました。その様子を先生は後ろから見ていました。三角柱の体積を求めるには、以下のプロセスが必要です。

- ☐ 1 九九を順番に言える
- ☐ 2 ランダムに九九を言える
- ☐ 3 面積って何かを知っている
- ☐ 4 三角形の面積を求める公式を知っている
- ☐ 5 公式を使って面積を計算できる
- ☐ 6 いろんな三角形の面積を計算できる
- ☐ 7 体積って何かを知っている
- ☐ 8 三角柱の体積を求める公式を知っている
- ☐ 9 公式を使って体積を計算できる
- ☐ 10 いろんな三角柱の体積を計算できる

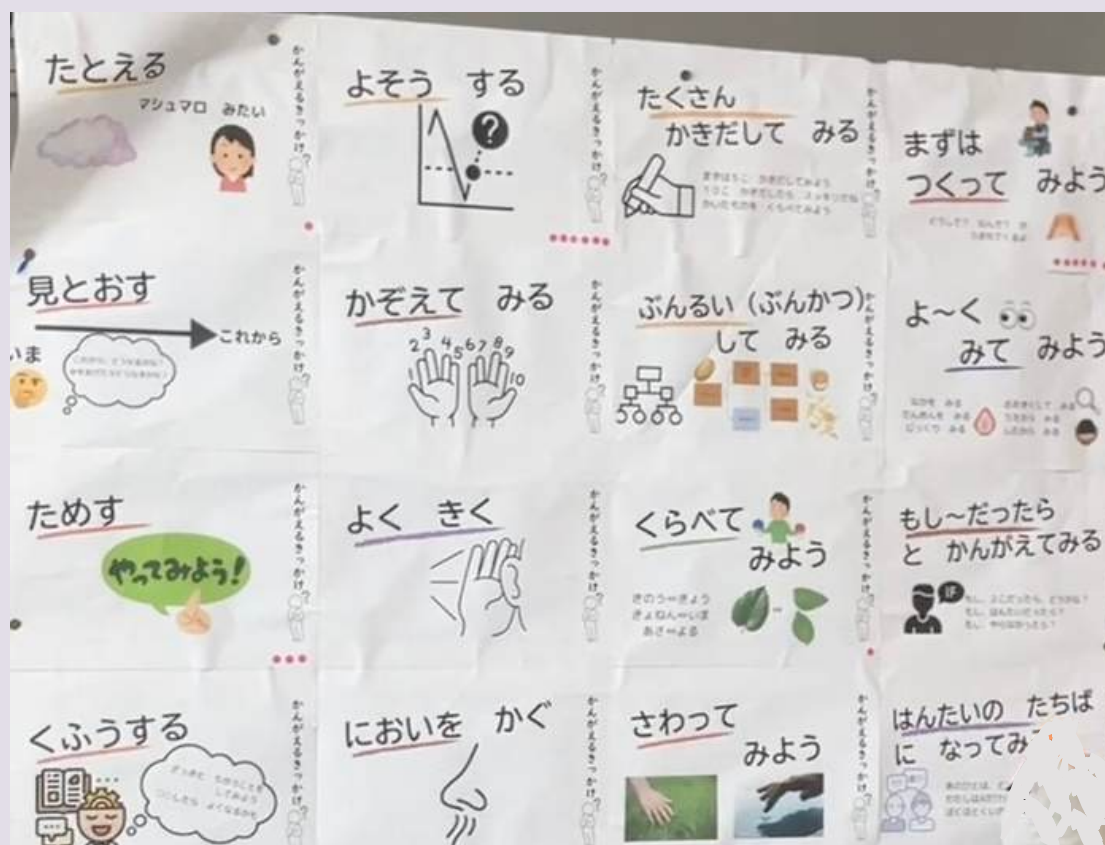
先生はいくつか質問をして、わからない原因が一緒に突き止めました。そして、できていること（＝強み）を確認してから、次のチャレンジを投げかけ、近くにいた子に「○○さんと一緒にやらない？」と声をかけました。そしていつの間にかいなくなりました。



先生がファシリテーターだと教室に対話があふれます。そして、子どもたちがファシリテーターだとクラスのだれとでも対話や議論ができるようになります。対立が起こった時も、子どもだけの力で解決へと向かえます。先生も子どもたちもファシリテーターの練習をしよう！

7 学び方をシェア！生活科から全教科へ

誰かの「学び方」が、誰かの「学び方」に変わる時を見逃さない



1年生の生活科の学習で「学びをサポートしてくれた行動」を教室に掲示しました。

例えば、朝顔を観察している時に「明日はたぶん葉っぱが増えていそうだな〜」と「予想」した子がいました。先生は「予想する」という学び方をみんなに紹介し、教室に張りだしました。すると「私も予想してみたよ」と学び方を真似する子が出てきました。「数える」「くらべる」など、先生はみんなの学び方を見つけて、張り紙をドンドン増やしていきました。

この「学び方」をシェアする活動は、生活科をスタートにして、図工や音楽、国語や算数など全教科に広がっていきました。始まりは誰かの学び方。それがいつしかクラスの学び方に変わっていきます。

ファシリテーターの先生は、みんなの様子をよく見ています。そして「あ、これ素敵だな」「大事だな」と思ったことを見える化します。するとこどもたちも、同じように「素敵だな」「大事だな」と思ったことを広げていきます。そうすることで、一般化していきます。

自由進度学習にチャレンジするみなさんへ

苫野一徳（熊本大学教授）

一人ひとりが「自分らしく生きていい」。そう互いに認め合える社会をつくるのが、教育の大きな願いです。学び方も、そのペースも、本来はみんな違っていいはず。だからこそ、自分の関心に合わせて学びを深める「子どもの声を聴く学び」は、自由に生きる力を育む大切な一歩になります。

この取り組みが、子どもたちが自律的に学びを楽しみ、互いの個性を尊重し合える「幸せな教室」への道しるべとなることを願っています。



前田康裕（熊本大学特任教授）

「子どもは一人ひとり違う」。新刊『まんがでわかる学習方略』でも書きましたが、最適な学び方やペースはみんな違って当たり前です。だからこそ、子ども自身が自分に合った「作戦（方略）」を選び取れる学習は、その個性を伸ばすための重要なアプローチだと感じています。

この冊子が、先生と子どもたちが「自分らしい学び」を実現するための確かな道しるべとなることを願っています。



自由進度学習について、より多角的、多面的、専門的に学ぶため、オンラインでイベントを開いています。そのゲストティチャーとして、おふたりから、たくさんのことを学びました。「幸せな教室」「自分らしい学び」の実現には、大人も子どもも楽しく学び続けることが大切です。

1 フリーペーパーを読んで意見を出し合おう



6月下旬。委ねる学びの割合がかなり増えてきました。「今日取り組んだ授業のように、自分で何をするか、誰とするかを決めていく学びを自由進度学習って言うんだよ」と紹介し、このフリーペーパーを子どもたちに配付。読んで「どんなことを思った?」「どんなことを感じた?」と聞いてみました。

Canva上でも配付し、子ども達にどこの部分から、何を感じたのか? 意見を出して共有しました。すると表紙に、子ども達から意見がたくさん出されてイメージが膨らみました。フリーペーパーを「学びについて話し合うきっかけ」として活用してみましょう。(北海道小学校 難波駿)

フリーペーパーの表紙に登場する「人」のイラスト。これは自由進度学習を進めるクラスで起きる様子を表しています。それぞれの人は、何をしているでしょう? どんなふうに感じているでしょう? あなたやあなたの友達は今、どんな感じですか?

2 先生の学びの場（校内研修）での活用



- ・幼稚園から高校まで、「子ども中心の学び」
- ・昨年度から市内全校園でスタート（約400校）



「何をやればいいの？」
「具体例を示してほしい」



自分たちなりの子ども中心の学び

対話ツールとしての「学びのコンパス」

これから自由進度学習に取り組む学校

自由進度学習フリーペーパー × 読書会

- ・好きな1ページを選ぶ
- ・問い「共有したい言葉は？」

価値観/不安/違和感が出てくる



名古屋市では、幼稚園から高校まで一貫して「子ども中心の学び」を掲げた「ナゴヤ学びのコンパス」の考えを基にした教育を推進しています。大事にしているのは学習の方法ではなく、目指したい子どもと大人の姿。スタートから2年が経ち、自由進度学習やプロジェクト型学習などに挑戦するクラスが増える中、この「学びのコンパス」は正解を示す「地図」ではなく、各学校園が「自分たちなりの子ども中心の学び」を模索する対話ツールとして活用されています。

そのひとつとして校内研修で、このフリーペーパーの読書会を行いました。内容の解説はせず、自分で選んだ1ページから「みんなと共有したい言葉は何か」という問いで対話を広げます。そうすることで授業の進め方だけではなく、先生のもつ教育観や不安、違和感などが自然と表出されます。

先生が自分の思いや体験を持ち寄って価値づけ、対話を通して試行錯誤を繰り返す学び方が、変化の激しい社会を生きる子どもたちの学び方にも先生にも大切だと考えています。

（名古屋市 指導主事 中川大輔）

3 国語「やまなし」わたしたちの幻灯づくり

国語「やまなし」学習のてびき

めあて

作品の世界を想像しながら読み、考えたことを伝え合おう
(学習時間 9 時間)

学習の流れ

時数	学習すること	使うものなど
1	語句調べをし、「やまなし」デジタル辞書をつくって、共有しよう。	sandbox、各種資料
2	「イーハトーヴの夢」を読んで、宮沢賢治を知ろう。	教科書P123-131
3	「やまなし」の表現の工夫を味わおう。オノマトペ・色彩表現・比喩表現を書き出して、その印象をグループで話し合い、みんなで共有しよう。	教科書、模造紙と付箋、全文掲載プリント
4		
5	私たちのオリジナル幻灯づくり。どんなカラーの物語にするか決め、宮沢賢治の表現方法を使いながら、表現しよう。	教科書、Canva、Padletなど
6		
7		
8	オリジナル幻灯音読会の準備をしよう。音読練習、効果的な表現、修正をする。	
9	幻灯音読会をしよう。発表会をし、学習を振り返ろう。	

5-8時間目をマイプラン（自由進度）学習として行いました。4時間目までにオノマトペや色彩、比喩表現など、宮沢賢治ならではの表現を味わった上で、「わたしたちの『幻灯』を創る」活動をスタートします。

各時間のはじめには、その時間に取り組む「めあて」をグループごとに考えます。そして、構想を練る、創作を進める、表現を見直すなど、学びの進め方は、それぞれのグループに委ねました。

単元進度表を見ると授業がどんなふうに進んでいくのか。私は今、どのあたりに取り組んでいるのかが一目瞭然にわかります。予定よりも速く進めるのか。じっくりゆっくり進めるのか。自由進度学習は、自分で計画を立てて実行し、振り返りながら進めることができます。

第3章 自由進度学習の実践



物語の展開を話し合うグループ、言葉の響きや色彩表現にじっくり向き合うグループなど、学び方やその姿はさまざまです。先生は、みんなの進度をそろえることよりも、そのさまざまな学び方について対話する中で、表現の意図を確かめたり、賢治の表現と結び付けたりする関わりを大切にします。自由進度学習を通して、子どもたちは自分たちの読みを確かめ合いながら表現を深め読むことと創ることを行き来する学びを積み重ねました。

自由進度学習は、例えば学期に1回でもいいし、先生の説明中心の一斉授業とのサンドイッチでもいいから取り組んだ方がいい。自由進度学習は子どもが自分で学び方の舵取りをして、自分で学習方法や内容を選択するので、先生が想定した以上のことが起こります。そこがいいと思います。

このフリーペーパーは学校で印刷をして全員に配付しました。また、AIでラジオ番組にして聞きました。「私たちには力がある」のページは、授業の最初や自由進度学習が「自由な時間」になりかけた時に読んでいます。

(東京都小学校 古矢岳史)

大人は物事を進める時に、計画→実行→評価→改善のサイクルをまわしながら進めます。英語ではPlan（プラン）→Do（ドゥー）→Check（シー）→Action（アクション）。略してPDCAサイクルです。自由進度学習もこのサイクルを自分で、あるいは友達とまわすことが大切です。

4 二刀流（二教科同時進行）にチャレンジ

国語「インターネットでニュースを読もう」&「文章を推敲しよう」	
単元目標	「ネットで読んだニュースの内容や感想を書き、文章を推敲して友達に伝えよう」
ねらい	
知識・技能	インターネットでニュースを読もう ・文章の構成や展開、文章の構成とその特徴について理解する。
思考・判断・表現	文章を推敲しよう ・文の中での語句の並び方や語群、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開を理解する。
主体的	・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見つける。また、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめる。 ・進んでニュースサイトの特色を認識し、今までの学習をいかしてニュースサイトと新聞を比較して読むようにしている。
身に付けたい力	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的	
活動活動	・ネット上で読んだニュースの内容や感想を書き、文章を推敲して友達に伝える。 ①《誰に？》6年生 ②《何に？》ノート ③《何を？》ネットで読んだニュース

「身に付けたい力」の明確化

オリエンテーション

国語3時間
算数4時間
デザイン

単元のゴール

算数「立体の体積」(5時間完了)	
ねらい	
知識・技能	・柱体の体積の求め方とその公式を理解し、公式を使って柱体の体積を求めたり、横断面積の体積を求めたりすることができる。
思考・判断・表現	・立方体の体積の求め方をもとに、角柱や円柱の体積の求め方やその公式、また、横断面積の体積の求め方を考えたりする。
主体的	・柱体の体積を求める活動を通して、角柱や円柱の体積の求め方やその公式のよさに気づき、横断面積を柱体と見えて体積を求める活動に活用するなど主体的に学習できるようにしている。
身に付けたい力	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的	
学習内容	
①9/10(水) 4時間目	・三角柱の体積(底面積)×高さで求められることを理解し、それを柱体の体積の求め方と考える。(P.98~101 参照)
②9/11(木) 2か3時間目	・角柱の体積(底面積)×高さで求められることを理解し、円柱の体積の求め方を考える。(P.102 参照)
③9/12(金) 1か2時間目	・横断面積を柱体ととらえて(底面積)×高さで体積を求める。(P.103 参照)
④9/16(水) 3か4時間目	・課題研究 ①「自分」で考え合わせ。(P.104 参照)
⑤9/17(木) 4時間目	・テスト勉強
⑥9/18(金) 2時間目	・単元テスト 目標点表 うら 点
振り返り	①今日の計画について ②次週に向けて
★自己採点★	
①「やらせてみよう」(P.105)	②「身の回りから立体を見つけ、体積を求めてみよう」
③「想像しよう」	

導入（国語＆算数）
1時間ずつ

- オリエンテーション（単元のゴールの確認）
- 国語…ネットで読んだニュースの感想を書き、文章を推敲して友達に伝える
- 算数…三角柱や円柱の体積の求め方を考え理解する
- 身に付けたい力&学習計画を立てる

展開（自由進度学習）
国語3時間・算数4時間

- 学習計画に沿って学習を進める
- ①松尾タイム ②課題の確認 ③自由進度 ④振り返り

終末

- 交流会（国語）
- 単元テスト（算数）

自己選択、自己決定は、私たちが自分らしく生きていく時に、とても大切な考え方であり、行動です。私たちの人生には、何度かの大きな選択、決定の場面があります。その時のためにも日頃から、「より良い選択」「妥当な選択」をする経験はとても大切です。

子どもたちの振り返り

- 自分で教科を選んで自分のペースで進めるから、いつもよりやる気が出た。また、ゴールを意識し、計画を修正しながら学習することもできてよかった。
- 求め方が分からず困っていると、友達が分からない問題を一緒に考え、教えてくれたから嬉しかったし、理解することができた。
- 友達にアウトプットすることで、学習内容をより理解することができた。
- 自分の苦手な部分を中心に学び直せたおかげで、テストの点数がよかった。

1学期と2学期に1回ずつ「算数と国語を同時に進める二刀流」で進めました。算数を先に済ませてゆっくり国語に取り組む人もいれば、その逆もあります。子どもたちがどちらかを選ぶ学習方法です。大切にしているのは、振り返りです。子どもたちは「今回の自由進度学習は嫌だった」「ここはみんなで話し合った方がいい」など正直に伝えてくれます。だから、授業の改良を積み重ねることができました。

クラスでは、自己調整学習力を身につけるために自由進度学習に取り組んでおり、将来、大人になった時にも、いろんなことを自分で計画を立てて、身につけるために練習しようと伝えています。ダウンロードしたこのフリーペーパーは、月に1回10分くらい読んで「気になったこと」をグループで話し合い、発表しています。そうすることで子どもたちは「こういうことだったんだ」と、改めて、自由進度学習に取り組む価値を実感しています。

修学旅行の班決めの時「男女混合の5人ずつで」と伝えて子どもたちに任せると、たった10分で決まりました。「なぜ？」と問うと「自分たちで調整できるようになったから」「誰となっても大丈夫」と答えてくれました。学校のイベントも自分たちで計画を立て、具体的に進め、「6年生に任せておいたら安心だ」と言ってもらえます。そういう力が備わってきたのだと思います。

(愛知県小学校 松尾 侑)

自分の意見が友達の意見と対立する時もあります。そんな時こそチャンスです。お互いに丁寧に気持ちを伝え合い、話し合ってどんな方法を選択するのが良いのかを合意形成します。その時、日頃からたくさん一緒に遊んだり、たくさん対話をしていると、スムーズに進みます。

5 テストを「やらされる」から「選ぶ」へ

算数の単元終盤3時間を委ねる授業

小学校の単元テストを「総括的評価の材料」としてではなく、良質な学習材として捉え直します。子どもたちは、単元末の3時間から、単元テストを受ける時間を選択し、単元テストに向けて学んだり、単元テストを元に学び直したり、探究活動に繋がたりする姿を期待しました。

全9時間、小学3年生『重さ』の単元。単元末3時間を子どもたちに委ねました。1～6時間目までの学習の流れは、右のシートの通り。本単元で大切な、学びのポイントをおさえ、学んだ跡は全てデジタル上に残るようにしました。テストは早めに受けて、その後、振り返りをして苦手なことにしたほうがいい。苦手なところの再テストを受ける。学び直しの成果を確認しよう！（北海道小学校 難波駿）

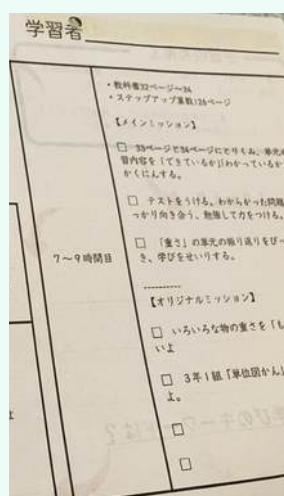
テストを「いつ」を受けるかを選択します

子どもたちが自分のペースで課題に取り組む時間を確保し
一人ひとりが自分に合った学び方で挑戦できる余白のある枠組みを設計

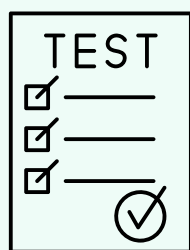
・良質な学習材として捉え直す「A3カラーの見やすい学習シート」

テストから学びを振り返る・学び直す

デジタルで「いつでも学び直せる環境」を整える。休んでも、何をしたかが、わかる！



理解・習熟部



探究部

1時間目	・2年生までの「水のかさ」「長さ」の勉強の復習をしたよ。 ・大事なことは、「同じ」にしないと、くらべられないってことをふりかえったね。 ※まなボケの算数に、じゅぎょうの黒板や「学んだ事・考えた事」を振り返る事ができるよ。
2時間目	・教科書20ページ～31 ☐ 重さをちよくせつたいけつて比べたよ ☐ ブロックをつかって、比べたよ ☐ g、kg、t、を知ったよ ☐ 1kgや4kgのはかりをつかって、重さをはかったよ ☐ はかりの使い方を知ったよ ☐ いろいろな物の重さをはかったよ ☐ ぴったり1kgや2kgを目指したよ ☐ 10種類の単位を整理したよ
3時間目	
4時間目	
5時間目	
6時間目	

テストから学びを広げる・深める

すらすら説明することをめざします。
「例えば？」と具体例を示し、
「つまりは？」と結論付けよう！

テストの結果を見ると嬉しかったり、悲しかったりします。でも大切なのは、そこからの分析です。なぜ、この問題に正解することができたのか。なぜ、この問題を間違えてしまったのか。一旦、落ち着いて、博士になって分析しましょう。そして、再チャレンジしよう！

6 自由進度学習×カードで学びを深める

社会 「戦国時代の優秀な武将は誰だろう」



- 1 時間目 誰が優秀な戦国武将と考える？（政治・戦・文化などの視点）（一斉）
- 2 時間目 わかりやすいプリント19～22（自由進度）
- 3 時間目 織田信長カード・豊臣秀吉カード（自由進度）
- 4 時間目 徳川家康カード（自由進度）
- 5 時間目 誰が優秀な武将かについてノートへまとめる（一斉）
- 6 時間目 意見交流を行う（みんなで）
「興味をもった武将カードを作成しよう」

誰が一番、優秀か。正解がありそう。でもなさそう。じゃあ、みんなで話し合って納得できる答えを見つけ出そう。まずは調べるところからスタートだ。

そんな声が聞こえてきそうな社会の授業。上記のように2～4時間目を自由進度学習で進めます。作成しているうちに、発展で武将カードを作成したり。授業が終わってもまだ熱心にカードづくりに取り組んでいる子もいます。

まるで「ポケカ」のように集める子たちも登場して。カードを作成してゲームをするうちに、自然と学びのポートフォリオ（記録）や振り返りにもなっているのが、このカードで学びを深める方法のいいところです。単元が終わっても家紋のカードを作成する子もいて、学びは続いていきました。

（大日向小学校 岩本歩）

7 図工「ドリームカンパニー」

自由進度学習で夢の会社の製品づくり



10～20年後の未来を見据え、生活を豊かにする「夢の会社」を創設し、その画期的な新製品を開発・紹介するプロジェクト型の学習です。

ステップは全部で6つです。まずステップ1「動きを試す」と2「動きを考案する」では、micro:bitやMESHなどのプログラミング教材に触れ、センサーや光の仕組みを探求します。続くステップ3「センサーを発表する」でアイデアを共有し、ステップ4「製品を考案する」では、画像生成AI（CanvaやPadlet）も補助的に活用しながらイメージを具体化します。そしてステップ5「製品を作成する」で粘土や段ボール等の材料とデジタル機器を組み合わせ、形にし、最後のステップ6「製品を発表する」でポスターと共にプレゼンテーションを行います。

子どもたちは学習計画表を道しるべに、毎時間の始めと終わりにめあてを立てて、振り返るサイクルを繰り返します。先生は、自分の進度に合わせて学ぶ場所や方法、材料を自律的に選択・決定し、創造力と共に自ら学びを調整する力を大切にして支援します。（埼玉県公立小学校 土信田幸江）

生成AIが登場してから、世界はドンドン速いスピードで進んでいます。10年後、20年後はどんな世界が待っているのか。予測不可能と言われています。しかし、私たちの世界は私たちが願った方向に向かっていきます。平和で、みんなが幸せな社会になりますように！

1 自由進度学習で学んだ先輩の声に学ぼう



友達と一緒に頑張れる 自分ひとりだけで進めるのは楽しい

自由進度学習は「自分で考えて、計画したことにじっくり取り組めるところ」が好きです。調べたいと思ったことがすぐに調べられる。やってみたいと思ったことをすぐにやってみることができる時間なのが楽しかったです。

私はそもそも勉強自体好きじゃなかったけど、友達と一緒に頑張れるってわかりました。友達と時間を決めて、10分間、情報を集めようって教科書を見るのが楽しかったです。ひとりだと1分も教科書は読めないけど、友達と頑張るなら30分でも出来ました。

自由進度学習は自分のペースで進められるし、自分ひとりだけで進めるといのは楽しいです。特に社会科が一番好きな授業でした。



あなたのクラスの
自由進度学習は、
どんな感じですか？

自由進度学習に取り組むと、一人ひとりの学びの現在地がわかります。でも、特に最初の1単元目は、先生も子どもたちも「目標や計画の立て方が難しい」「学習方法や具体的な手立てがわからない」と悩みます。でも、だんだんと学習方法に慣れてくると効果が見え始めます。

2 はじめの一步は算数がおすすめです

算数は、掛け算や割り算、図形の問題など、いろんなことを学びますよね。でも、みんな同じペースで進むわけではなく、それぞれが得意なところから始めることができるのが自由進度学習です。例えば、掛け算は得意だけど分数は苦手、そんなときは分数から始めてもOK！得意なところは少し休んで、苦手なところをじっくり学ぶことができます。

また、自由進度学習では、わからないところを何度でも繰り返し学べます。例えば、「この掛け算のやり方をもう一回見たい！」と思ったとき、動画で何度も確認できるんです。自分のペースで進められるので、焦らず、じっくり学べるのが嬉しいですね。もし、わからないことがあったら、先生に質問することもできます。迷わずに進んでいきますよ。

家庭でもできる学習方法があるので、家でも自由進度学習を活用できます！例えば、家に帰ったら、宿題の前に好きな算数の問題集をやってみるといいですよ。難しい問題があったら、インターネットで動画を検索して、自分のペースで学ぶことができます。おうちの人と一緒にやって、わからないところを説明してもらうのも良い方法です。算数が苦手でも、少しずつ進んでいくことで、どんどん自信がついてきます。算数を得意にしよう！



学習進度がわからないときは、まず教科書を見てみましょう。教科書には、進むべき内容が順番に書かれているので、進度を確認できます。また、教科書会社の年間計画を参考にすれば、全体の進行具合も把握できます。

3 毎日読書を楽しもう

読書は「知識の宝庫」です。

「情報」ではなく「知識」なのです。「知識」はみなさんの人生の「選択肢」となる貴重な財産です。誰にも奪われることはありませんし、何度使っても減らない財産であるのが特徴です。

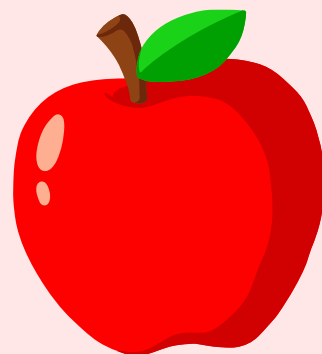
具体的な話をしましょう。

知っていることが多いほど、物事をいろんな角度から見れるようになります。例えば「リンゴ」を見たときに、「あ、リンゴだ！」と思えることも、知識がある状態だと言えますよね。しかし、知識がたくさんある人、多くの人の言葉を読書を通して得てきた人は、それ以外の見方をすることができます。さて、どんな見方があるでしょうか？少し考えてみましょう。

読書の良さをもう一つだけ伝えます。読書はあなたの「器の大きさ」も育てます。あなたがリンゴが大好きだとしましょう。そこに「私、リンゴが嫌いなんだよね。」という友人が現れたら「えっ！？なんで？美味しいのに！！」と思うでしょう。しかし、読書をして「いろんな人の知識」を得ている人は、そうは思わないのです。

なぜなら、自分以外の人の人生や、物の見方をたくさん知っているからです。

まだまだ語り尽くせないくらい、「読書」の良さはありますが、ここから先の「良さ」はあなた自身で体験してみてください。



読書も、立派な学習です。国語の自由進度学習で、教科書に紹介されている本を読みましたか？社会の自由進度学習で、歴史漫画を全巻読んでみましたか？学校図書館という「知識の宝の山」を活用できているかな？本があなたを待っています。

4 自由進度学習×ICTは相性がいい！

動画で何度でも学べます！

授業で説明を聞いても、「あれ？もう一回聞きたいな…」と思うことはありませんか？ICTを使えば、先生が用意した動画を何回でも見ることができます。例えば、家庭科の授業でミシンの使い方を学ぶとき、えっと…糸はどこに通すんだっけ？」と迷った時も、動画を見れば、最初から確認できるので安心です！

自分の進み具合がすぐにわかります！

「次はどこをやればいいのか？」と迷うこともありますよね。でも、タブレットやパソコンで自分の進み具合を確認することができます。例えば、プログラミングの学習をするとき、「ステップ3まではできたけど、ステップ4はまだだった！」と、すぐに把握できます。先の見通しが立つと、「よし、次もがんばろう！」という気持ちになりますね。

好きなタイミングで先生に質問できます！

授業中、先生がほかの人の質問に答えているとき、「今、先生に聞きたいけど、話しかけにくいな…」と思うことはありませんか？ICTを使えば、チャットやコメント機能を使って、先生に質問を送ることができます。例えば、家庭科でレシピを考えると、「この食材を変えても大丈夫ですか？」と迷ったら、チャットで先生に聞くことで、先生が気づいたときに返信してくれます。すぐに答えが返ってこなくても、質問を残せるので安心ですね！

こんなふうにICTを使えば、自分に合ったペースで学べるので、自由進度学習がもっと楽しくなります！



ICTを使う時には

- ① インターネットには間違った情報もあります。信頼できるサイトや資料を選びましょう。
- ② チャットやコメントでは相手が嫌な気持ちにならない思いやりのある言葉を選ぶことが大切です。
- ③ 時間を決めて使おう！ICTは便利ですが長時間使いすぎないように自分でルールを決めましょう。

5

ホワイトボード・ミーティング®でファシリテーターになろう！

ホワイトボード・ミーティング®は2003年に開発された話し合いの方法です。進行役をファシリテーター、参加者をサイドワーカーと呼びます。ファシリテーターが参加者の意見をホワイトボードに書くので、話し合いがわかりやすい。みんなの意見で難しい問題の解決や新しい発見が進みます。

方法はシンプルです。

ファシリテーターは「好意的な関心の態度」でみんなの意見を順番に聞いて、ホワイトボードに書きます。「ホワイトボード・ミーティング®質問の技カード」を使って、意見を広げたり、深めたりします。「なるほど、なるほど」がいっぱいです。ホワイトボードに色をわけて書くことが特ちょうです。

●発散：意見をどんどん出す（広げて深める）

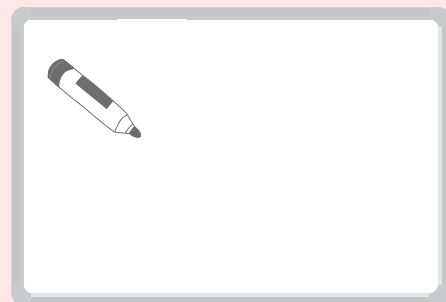
●収束：意見をまとめる

●活用：結論や役割を決める

書くのが得意な人も、苦手な人も、みんなが交代でファシリテーターをします。ファシリテーションは技術なので、練習をすればするほど上手になります。小学校1年生も、大人も同じ方法で練習します。大人になっても役に立つ話し合いの方法です。

タブレットやパソコンのスライドシート（白い紙）をホワイトボードに見立てて、話し合いを進めることもおすすめです。

みんなでワイワイ話し合うのは楽しい



パソコンで話し合う
ホワイトボード・ミーティング®もおすすめ！

ホワイトボード・ミーティング®は子どもから大人まで世代をこえて話し合いが進む技術です。「ホワイトボード・ミーティング®質問の技カード」を学校の授業で使う場合は、右側のQRコードからダウンロードできます。



6

やってみよう！サークル対話 (イエナプラン教育)

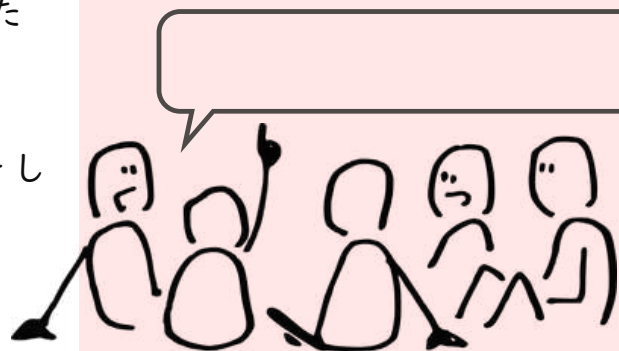
イエナプラン教育では、対話が最も大切とされています。その取り組みのひとつに「サークル対話」があります。

サークル対話では、クラスみんなでひとつの輪になって対話を行います。目的は、一人ひとりが尊重され、グループに貢献できるようになることです。たくさん発言することが目的ではなく、他者の発言に耳を傾け、受け止めることを大事にしています。嬉しいことを一緒に喜び合ったり、互いの悩みを解決し合ったりします。

サークル対話は、自由進度学習で起きる良いことや問題点を一緒に考える機会となります。クラスでサークル対話を行う文化があると、自由進度学習が豊かになります。例えば、

- ・今の自由進度学習は何がうまくいっている？何がうまくいっていない？
- ・どんな環境が学びやすいかな？
- ・今回の単元の課題は、今のペースで間に合いそうかな？
- ・自分たちにとって学びやすい単元進度表はどんな感じ？
- ・もっと先生に教えてもらいたい？もっと自分たちで教え合いたい？

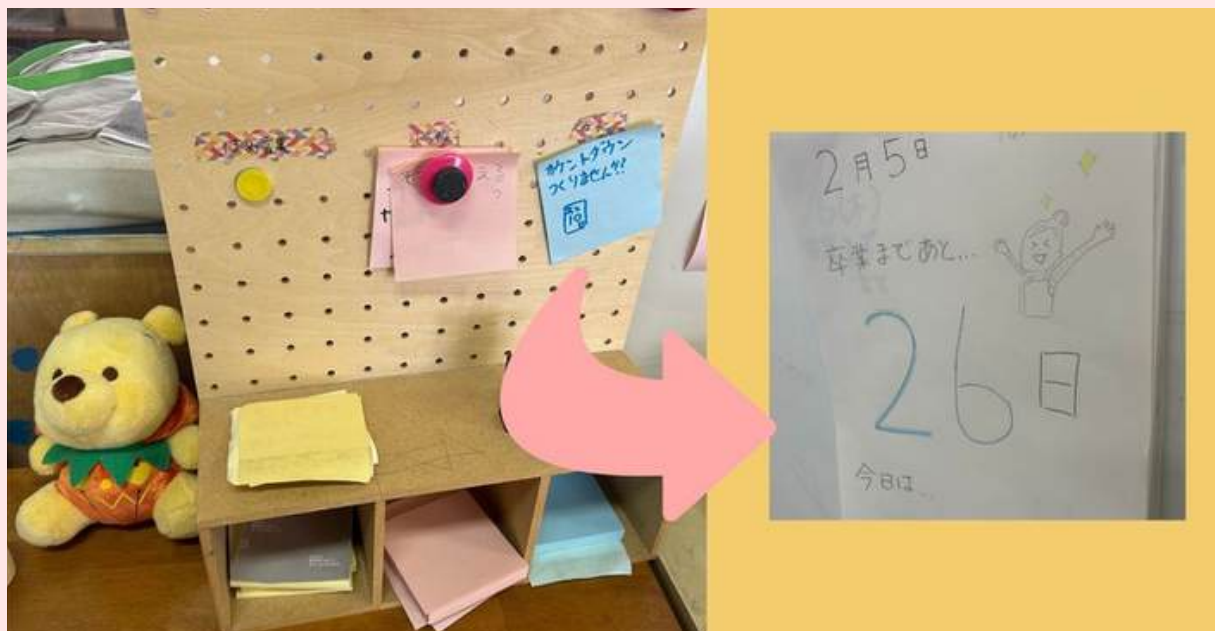
自由進度学習で起きる課題もサークル対話しながら、みんなで乗り越えていきます。



サークル対話は、朝の会や帰りの会の時に10分から15分の時間をつくって行うことをおすすめします。子どもたちとサークルで対話を積み重ねて自由進度学習をつくっていきましょう。

7 クラスBOXサークルを始めよう

ほめ言葉・質問・提案。みんなの声を聴く



<第1回目の進め方>

- 1 感謝を書く付箋を全員に配ります
- 2 自分の名前を付箋に書いて集めます
- 3 集めた付箋をシャッフルして全員に配ります
- 4 付箋に名前が書かれた友達に感謝の言葉（ほめ言葉）を名乗らずに書きます
- 5 感謝のメッセージを書いた付箋を集めます
- 6 サークルになって、集めた付箋を先生が声に出して読み渡します

※第2回目は質問、3回目は提案を書いて、同じ方法で進めます。

※4回目以降は、クラスBOXに提出された付箋をテーマにして話し合います。

先生は3色の付箋を用意をし、子どもが書いたらマグネットで貼り出します。

- ☐ 黄色（ほめ言葉）
- ☐ 赤色（質問）
- ☐ 青色（提案）

写真は「カウントダウンカレンダーを作いませんか」という提案とそれをもとに話し合って作成した卒業カレンダーです。

参考文献など

先生たちは、こんな本を参考にして進めているよ。読んでみてね。

- 「個別最適な学びの足場を組む。」（奈須正裕 教育開発研究所）
 - 一 個別最適な学びを実現するための具体的な方法や指導の工夫について詳しく解説されています
- 「教科の一人学び「自由進度学習」の考え方・進め方」（竹内淑子 黎明書房）
 - 一 自由進度学習の基本的な考え方や具体的な進め方について解説されています
- 「よくわかる学級ファシリテーション③授業編」（岩瀬直樹・ちょんせいこ 解放出版社）
 - 一 子どもたちが学びのコントローラーをもって学び合う。授業の進め方の様子や方法が紹介されています
- 「子どもが自ら学び出す！ 自由進度学習のはじめかた」（蓑手章吾著、学陽書房）
 - 一 授業の最初10分を全体指導。残りを自分のペースで学習を進める「自由進度学習」の実践方法が解説されています
- 「超具体！自由進度学習はじめの1歩」（難波駿著、東洋館出版）
 - 一 自由進度学習を始めるにあたっての「具体的実践例」が12本掲載されています。5分から始められる実践もあります
- 「学び方を学ぶ授業」（難波駿著、東洋館出版）
 - 一 子どもたちに学びの主導権を委ね「よりよく」を探究する共通言語となりうる本です。7つの観点で学び方を捉えます
- 「イエナプラン教育を取り入れた自由進度学習 クラスでトライしてみる「ブロックアワー」」（岩本歩著、明治図書）
 - 一 日本の公立学校で行う自由進度学習の方法について、イエナプラン教育の考え方を大事にして行った実践が書かれています
- 「よくわかる学級ファシリテーション②こどもホワイトボード・ミーティング編」（岩瀬直樹・ちょんせいこ 解放出版社）
 - 一 小学校のクラスで子どもたちがファシリテーターになって話し合う方法が描かれています
- 「自律した学習者を育てる算数授業のカード実践」（樋口万太郎著、東洋館出版社）
 - 一 カードを作成しながら、算数の見方・考え方を共通言語に実践を進める実践についてが紹介されている本です
- 「増補改訂版『振り返りジャーナル』で子どもとつながるクラス運営」（岩瀬直樹・ちょんせいこ 学事出版）
 - 一 成功も失敗もどちらも学びの糧になる。そのポイントは「振り返り」。振り返りのサイクルをまわす具体的な方法を紹介
- 「対話で学びを深める国語ファシリテーション」（石川晋・ちょんせいこ フォーラムA）
 - 一 国語の授業におけるファシリテーションを説明。作品理解が進む音読や自由進度で進める国語の授業の進め方も紹介

このフリーペーパーを作成した人

- 難波 駿 （北海道札幌市公立小学校教員）
土信田幸江 （埼玉県公立小学校教員）
岩本 歩 （茂来学園 大日向小学校教員）
ちょんせいこ （ファシリテーター・株式会社ひとまち代表）



これまでの歩み

- | | |
|-------------|--|
| 2025年 3月15日 | 第1回「自由進度学習を始めよう」フリーペーパーを発行 |
| 2025年 7月29日 | 第2回「フリートーク&チャレンジ報告」 |
| 2025年 5月16日 | 第3回「自由進度学習が拓く学びの未来」（苫野一徳氏） |
| 2025年12月17日 | 第4回「学びの未来をデザイン授業改善プロジェクト」（前田康裕氏） |
| 2026年 3月15日 | 第5回「第2章 さあ、自由進度学習を始めよう」フリーペーパーver.2を発行 |

最初に土信田さんが、難波さんとちょんさんが出会うきっかけをつくってくれてオンラインで3人で話を始めました。その後、岩本さんがジョインしました。2025年3月15日にオンラインで自由進度学習についての学習会を開催し、この冊子はその時に配付されました。その後、このフリーペーパーを活用して実際に取り組んだ方や講師に来てくださった方の声を掲載し、2026年3月15日に第2版として発行しました。この冊子はフリーペーパーです。学校で自由にお使いください。

世界中の学校の先生（授業者）や子ども（学習者）、保護者や地域の方などにこれが届いて、より多くの方々のお役に立てれば嬉しいです。みんなでアップデートして平和で幸せな社会づくりが進みますように！

2026年3月15日発行 ver.2